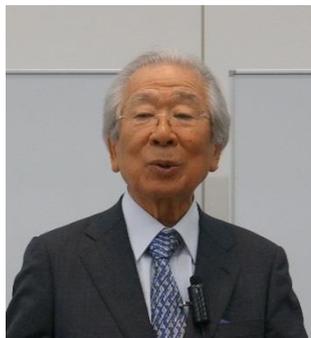


## 第10回 2017年3月14日(火) 第9期 一流塾 卒塾式

2016年4月開講の第9期一流塾は、この第10回が最終回です。その第1部の講義では、渡邊五郎氏(元三井物産(株) 副社長)から『リーダーのあるべき姿(その志と心)』と題してご講演頂きました。



【講師 渡邊氏】

渡邊氏は、冒頭、グローバルに大きな変化が続く状況下では、変化に主体的に立ち向かい、発想力、構想力、実行力を十分に発揮して挑戦することが重要であるとお伝え頂きました。続いてリーダーに求められる資質として、「基本に戻れ(back to the basics)」や「凡事徹底」など、いつでも基本的なことが普段通りできることが、ビジネスで戦うための根幹であると説かれました。そのうえで、「エレガント・カリスマ」という言葉で、品性のある生き方の重要性をグローバルなご体験談を織り交ぜながら分かりやすくお話し頂きました。さらに、真の経営者として成長するには、「修羅場」、「土壇場」、「正念場」をどれだけ経験してきたかが問われるということ、ユーモアを交えてご紹介頂きました。講義の最後には、「人生は、ただひとたびの饗宴なれば、太く豊かに生き得られよ」の言葉を塾生に贈って頂きました。経営者としての豊富なご

経験や国内外の著名な経営者との交流から導き出されたお話しに塾生も引き込まれ、熱心に耳を傾けていました。塾生からは、「経営上は数値目標の追求だけでなく、高く太い志を表すコミットメントが重要である」とのご指摘に感銘を受けた、「『凡事徹底』とは単純な基本の繰り返しではなく、どんな困難な事態でも基本を疎かにせず遂行する気持ちが大切だと改めて認識した」といった声が寄せられました。

講義後には、第9期一流塾の卒塾式が開催され、一柳塾長、一流塾特別顧問の福川伸次氏((一財)地球産業文化研究所 顧問、東洋大学理事長、元通商産業事務次官)、同じく斉藤惇氏((株)KKR ジャパン 会長、前(株)日本取引所グループ取締役兼代表執行役グループ CEO)、第1部の講義にご登壇頂いた渡邊氏、特別ゲストの白石真澄氏(関西大学 政策創造学部 教授)から祝辞を頂戴いたしました。



一柳塾長



福川特別顧問



斉藤特別顧問



白石特別ゲスト

一柳塾長からは、予測できない変化が続く今の時代において、リーダーは夢やビジョンを持ち、そのために自ら行動し、失敗してもそこから学び成功に結びつけることが重要であり、それゆえに一流塾では、卒からはみ出して人間力を高めること、ホンモノに触れて学ぶこと、そして学んだ知識を経験を通じて知恵にすることを一貫して教えてきたと、これまでの一流塾全体を振り返られました。そのうえで、経営者は「金儲け」よりも「人儲け」の方が大切であり、塾生の仲間や講師陣といった良い人との出会いを大切に、「面白く、楽しく、前向きに明るく」生きるよう頑張ってくださいと塾生を激励されました。

福川氏からは、経営者は、自分で考え、自分で決め、結果に対して責任を持つことが重要であり、一流塾で学んだことをビジネスに活かし、人真似ではない新しい価値を生み出して欲しいと塾生を励まされました。続いて斉藤氏からは、自分を助けるのは自分であり、自ら行動することで運も開かれることをお話しになり、経営者は行動することが肝要であると塾生にお伝え頂きました。渡邊氏からは、グローバルに通用する資質を備えた日本人のリーダーの必要性を痛感しており、「インパクトと余韻」を相手に感じさせる生き方を塾生に説かれました。最後に白石氏からは、より良い人間関係を構築するには、自分自身が魅力ある人であることが必要であり、魅力ある人はユーモアが備わっていること、ユーモアには感性を磨いたり教養を高めたりすることが重要であることを、白川氏ご自身が模範を示すように、ユーモアを交えてご紹介頂きました。



一柳塾長からの  
修了証書授与

講師陣のご祝辞の後、一柳塾長から塾生代表の廣野氏（アサヤ(株) 専務取締役）へ修了証書が授与されました。その後、廣野氏が答辞を読みあげ、一柳塾長はじめ講師・特別ゲストの先生方への感謝、この1年間の一流塾での様々な学びや仲間との出会い、今後のさらなる成長への決意などを、想いのこもった言葉で伝えられました。



塾生代表  
廣野氏による答辞



白石特別ゲスト  
一柳塾長  
福川特別顧問  
斉藤特別顧問  
渡邊講師

第9期一流塾 卒塾記念撮影

卒塾式の後には懇親会が開かれ、これまでの学びや交流の思い出、経営者としてさらに成長したいという強い意欲など、互いの想いをぶつけ合い、講師陣も一緒になって熱心に語り合う場となりました。冒頭の福川氏による乾杯のご挨拶に続き皆勤賞の表彰があり、一柳塾長から世界で一つの“一柳”スパークリング・ワインが皆勤賞の14名に贈呈されました。また、一流塾士会（卒塾生によるOB会）のメンバーも懇親会に参加され、塾士会会長の石井氏（(株)石井鐵工所 常務取締役）から、200名を超える塾士会の今後の方針・予定や入会のご案内などを、ユーモアと熱意をもって現役生に伝えられました。

その後、第9期生のOB会委員長の選出が行われ、大場氏（インフィック(株) インフィックグループ COO 取締役副社長）、山本氏（全日本空輸(株) 執行役員）、中山氏（トーシンファシリティーズ(株) 代表取締役専務）が、満場一致で選ばれました。壇上にあがった幹事3人は、卒塾後も第9期生の交流を盛り上げることを誓われました。



一柳塾長と皆勤賞受賞者



一流塾士会 石井会長



第8期OB会幹事  
(左から:山本副委員長・大場委員長・中山副委員長)

続いて行われた塾生による1分間スピーチでは、いずれの塾生も一流塾への感想や今後の抱負についてジョークを交えて語り、そのユーモアに溢れたスピーチに会場が笑いに包まれました。スピーチには、「一柳塾長の人間力に魅了された」、「一流の講師陣と身近に交流でき、経営者として多くのことを学べたの」、「卒塾後も良い仲間との交流を大切に続けたい」など、いろいろな思いが込められていました。

懇親会の後、塾生有志が塾長を囲んで行われた放談会では、塾長と塾生が一流塾での思い出などを振り返りつつ、楽しく愉快的な会話で一同大いに盛り上がり、それぞれに名残惜しさを感じながらも袴を脱いだ楽しい交流が深夜まで続きました。



懇親会（福川氏の乾杯）



放談会風景①



放談会風景②